

仙台市立作並小学校



校長室だより

第7号

やさしい子

かしこい子

たくましい子

平成28年12月13日

進んで運動に取り組む作並っ子

師走を迎え、寒さがひとしお身にしみるところとなりましたが、作並の子どもたちは毎日元気いっぱいです。いつも全員で外遊びを楽しんでいます。雨で校庭が使えないときには、体育館を開放しています。一日の生活の中で自由に遊べる時間は、朝の授業前、業間時間、昼休み、放課後の4回あります。その、休み時間の過ごし方を見ていると、4月と比べて大きな変化がありました。年度当初は、ブランコや遊具、一輪車やサッカーなどそれぞれが好きな遊びをしていましたが、夏休み前から全校児童でドッジボールをするようになりました。12月になってもドッジボールの人気は衰えず、朝・業間・昼休み・放課後と必ずドッジボールが行われています。ドッジボールがブームになって、たくさんの効果が見られます。



まずは、体力向上・運動能力の向上です。コートの中で当てられないように逃げ回り、ボールを追いかける運動量はかなりのものです。休み時間が終わると汗びっしょりの子供もいます。また、ボールの投げ方やキャッチの仕方も上達しました。ボールをキャッチするとすぐに投げるようになり、ゲーム全体がスピーディーになり、さらに運動量が増えているようです。

また、ゲームのルールをよく理解し、勝っても負けてもゲームを楽しめるようになりました。始めたころは、ルールがよく分からなくて泣いてしまう子もいましたが、上学年の子どもたちが優しく声を掛けたり、分かりやすく説明したりすることで、いつの間にかルールもよく分かるようになりました。チーム分けは、じゃんけんで決めたり、男女別、123年対456年だったり様々です。勝っても負けても楽しくできるところがすばらしいです。そして何よりうれしいことは、リーダーが

成長し、全校児童の仲間意識が大きく育ってきたことです。

12日は、今年初めての雪遊びになりました。朝から雪合戦が始まり、休み時間にはみんなでそり遊びを楽しみました。一人で滑ったり、お友達と二人乗りをしたり何度も繰り返していました。元気いっぱいの声が校庭に響いていました。運動するのが大好きな子どもたち、これからもみんなで楽しく運動に取り組んでいきます。

